



題字は松井岳洋筆

7年目を歩んで

教務部長 菊池 岳世



「難しかったけど  
楽しかった。あつ  
と言う間だった  
わ。」「録音したか  
ら大丈夫。雰囲気  
も掴めたし、教場

で皆と勉強します。」とは、夏季吟道講座終了後の  
声。前向きな考えが聞けてほっとした瞬間でした。  
初の半日講座。心配した開始準備には大勢の先生  
方と会員の皆様のご協力を頂き、何とか間に合わ  
せられました。終了後の片付も含め素晴らしい結  
束力に、流石碩心会と改めて実感。滞りなく終了し、  
教務部として皆様に心より感謝申し上げます。

縁有って神奈川県在住となり、碩心会の門を叩  
いたのは平成24年6月。内山岳青会長の時でした。  
「碩心会でも良いけど、もし発会する気持ちが有る  
なら、それも力になりますよ。」と選択肢のある事  
を教えて下さり、初対面にしてその懐の深さを垣  
間見た思いでした。更に昼と夜の教場を一日の中  
に案内して下さいる熱心なお姿に触れ感動。碩心会

に迎えて頂きました。

それから2年。暖簾分けして頂き、やよい支部  
が誕生。その折の先生の言葉は「何の問題も無く  
純粋な暖簾分けだよ。減多に無い事だよ。」と。有  
難くお受けしました。

やがて逗子地区副委員長、教務部副部長を経て  
教務部長を拝命、現在に至ります。力不足乍らも  
師範会講師を務めさせて頂く中、平成28年度より  
碩心会夏季吟道講座講師としても勉強させて頂い  
て居ります。そんな私を、上村前会長は吟道修学  
院二期生に推薦して下さいり合格。卒業時には「一  
吟とスピーチ」という大役を担わせて頂きました。  
更に正師範・総伝を頂き、振り返れば移籍して7  
年の者には勿体ない程の立場に至りました。碩心  
会の中で温々と育まれている事に気付いた時、申  
し訳ない思いと有難さで胸がいっぱいになりま  
した。

師の恩を忘れることなく、会長、諸先輩にご指  
導を賜りながら、今まで以上に吟を磨いてまいり  
たいと思います。今回の寄稿依頼が我を振りかえ  
る好機となりとても感謝しております。

No. 450  
令和元年9月

発行

(公社) 日本詩吟学院 認可

碩心会

発行者 有友岳濤

編集者 森 祐風

神奈川県三浦郡葉山町堀内 2021

Tel/Fax.046-875-0507

URL <http://sekishin.holy.jp>

行事予定

神静地区吟道講座

日時 9月22日(日) 開会10時

場所 三島市民文化会館

第26回全国優秀吟者吟道大会

日時 9月23日(月) 開会10時

場所 メルパルク東京

第11回相州岳風連合吟詠大会

日時 10月23日(水) 開会10時15分

場所 逗子文化プラザなぎさホール

第130回全国吟道大会(山口)

日時 10月27日(日) 開会10時

場所 山口市民会館

逗子市詩吟詩舞連盟秋季大会

日時 10月31日(木) 開会 午後1時

場所 逗子文化プラザなぎさホール

〈古典の日〉吟詠鑑賞会

(令和元年度「現代名吟鑑賞会」)

日時 11月1日(金) 開会10時

場所 吟道会館

葉山町文化祭

日時 11月10日(日) 開会午後12時30分

場所 葉山町福祉文化会館

神奈川県岳風連合吟詠大会

日時 11月14日(木) 開会10時

場所 川崎市総合福祉センター エポック中原

碩心会吟詠と詩舞の集い

日時 12月7日(土) 開会10時

場所 葉山町福祉文化会館

私にとつての吟力向上  
令和に入って開催された3講座での参加者の声

第65回夏季吟道大学講座 (20名参加)

7月20・21日 メルパルクホール東京

幸和支部 黒田 岳慶

初めて参加した講座は2日間に渡り、俳諧歌、長詩、近代詩、和歌、俳句と盛り沢山の内容であった。詩吟を始めて25年、吟力向上を目指すも、なかなか思う様に上達出来ず歯がゆい思いの毎日である。今回の講座では俳諧歌の渡会岳弘先生の「詩をよく理解し、リズムよく、余韻は言葉をつめて。声はぎれても心はぎれない。目で吟じない。言霊を生かし感情豊かに吟ずる」とのお話が心に残りました。これからの糧にしたいと思いました。また、野村邦近先生の中国語の詩の朗読は美しく魅了されました。

酔吟支部 畠中潤風

俳諧歌、長詩、近代詩、和歌、俳句の各ジャンルから選り出された作品を素材にして、講師の方々の素晴らしい模範吟に接することができました。そのうえで、講師の方々からは、吟じ起し、間のおき方など二句三息に吟じる際の留意点、声を出すときは口先の形を作る、など発声するときの留意点など、吟法で基本的に抑えるべき要点を丁寧に解説いただき、吟技を向上させる上で大変参考になった。加えて、1日目の名歌鑑賞、2日目の名詩鑑賞の講義では歌や詩の意味に加え、それらを詠んだ歌人や詩人の心情についても理解を深めることができた。吟の楽しみが大いに広がる機会となった。

和歌吟法講座 横南吟道会 (39名参加)

7月29日 横須賀市はまゆう会館

紫陽花支部 佐野 司泉

詩吟を始めてまだ2年余の私にとつては、新しい吟詠との出会いであり感動の場であった。勿論、田邊岳璋先生の素晴らしいお話と吟に引き込まれたということではあったが「和歌」が持つ魅力と「和語」の持つ柔らかさ・美しさが感動を大きくしてくれたのだと思う。浅学の身にして定かでないが、作者の感情を表現するときの和語故の難しき、漢語と違う吟じ方が新鮮な感銘を生んでいる気もする。この受講で学んだことは、作者の気持ちに近づくとこの事である。歌をよく読み出来るだけ作成時の状況を調べ知ることの大切さを改めて認識した。そして、詩吟の新しい魅力に出会える機会を与えてくれた横南吟道会の皆様に深く感謝するところであり、私も精進を重ねたいと思った。

紫陽花支部 矢島 岳綾

相聞歌を初めて目にした時に、全身の毛穴がパアアと開くような感覚に襲われました。何度となく読み返しても、涙がジワーッと出てしまします。作者の情念というか、死に行く人の思いの深さが、ひしひしと伝わって来ました。声量のない私には、和歌はとても馴染み易かったせいか、力が入りました。今までは、仕事優先で、あまり勉強会や講座に出席出来ず、今回の田邊岳璋先生のユーモアを交えた解説は、とても楽しかったです。和歌に対する魅力がほんの少しだけ分かるような気がしました。これからの機会があれば、積極的に勉強会に参加してゆきたいと思っています。

碩心会夏季吟道講座 (91名参加)

8月22日 葉山町福祉文化会館

やよい支部 山口青風

夏季吟道講座は一つの課題を深く学べるので教室とは異なる充実感が得られ、吟力向上が期待できる貴重な行事です。今年は半日3課題で、近代詩、俳諧紀行文、漢詩の構成でした。それぞれ工夫された講義で心地よく、楽しく受講出来ました。作者の気持ち、伝えたいことを分かった上で、素読、出だし、リズムを大切に吟ずることが重要と理解しました。「暮坂峠」にまで赴かれた菊池先生のお話と講義、想像力を要した半間先生の「笑塚のお話、そして、もう一つの「塚も動け」の吟も聴けて作者の気持ちにより近づけました。最後は有友会長のご指導で良寛の「無欲」を全員で連吟し碩心会が一体となりました。猛暑の夏もわり、爽やかな秋間近です。秋季審査会に向けて頑張ります。

悠々支部 福原時泉

悠々支部は漢詩に加えて和歌、俳句の練習を開始したばかりですので、今講座の近代詩、俳句入り紀行文は難しく苦戦しました。今回は3名の先生方が作者の経歴、語釈、通訳等を十分に紹介下さり、その内容を理解し興味深く学ぶことができました。素読では読みのリズムやアクセントの大切さを知り、詩の意味を理解し、作者の思いを声で表現すること、「主題を理解するために歴史的、社会的背景を知ることが大切な要因である」の言葉を再認識しました。私にとつて「暮坂峠」は半世紀前に訪れた懐かしい地であり、金沢は昨年9月中旬、悠々支部9名で訪れた金沢・願念寺「一



笑塚」の前で吟じた「塚も動け」を思い出し、再び訪れてその作品に浸ってみたいと思います。

**会員増強に取り組み**  
新しく碩心会に入会された方と入会に係わった方の声

**東伏見支部**



★新入会員 山本 実

現在、仕事の合間をみてサイクリングや鎌倉・三浦歴史散策等を楽しんでおります。ところで人生百年時代を生きるにあたり、趣味を追加すべく模索しておりました。その内の一つ、詩吟は腹式呼吸による発声により心身共に健康によく、また詩歌に親しむことにより歴史や文学の教養が豊かになるという利点があると理解しておりました。折しも、ラジオ体操の仲間の上村顧問から声を掛けられ、今回、入会させていただくこととなりました。

☆推薦者 上村 岳章

山本さんとは眞名瀬の海岸で毎朝ラジオ体操を楽しむ仲間でした。毎朝お会いする中で、何かにつけて今日は葉山で大会がありますとか話題の中で私が詩吟を楽しんでいることを話したことはあり、特に図書館の近くなのでレッツ詩吟があるとお誘いしていたと思います。図書館の近くで教場を開けばやりたい方がいますとの情報があり、図書館を中心に教場を開く計画を立ててお誘いしました。9月から向原の「いこいの家」に教室を固定し水曜日の午前中に練習をすることにしました。今は根岸奏岳さんも加わり3人で楽しんでおりま

す。

**眞名瀬支部**



★新入会員 鈴木 エミ子

パワーも情熱も薄れた八十路をどのように過ごしたら良いものか悩んでいた時、友人が詩吟を始めたこと聞き、誘われ私も参加。教室はとても温かく家庭的な雰囲気になれました。声を出して吟じたら、心がすつきり、晴れやかに詩吟教室が楽しみになっていきます。今後は詩を理解し表現できるようにしたいと思います。そのためにも健康に留意し仲間と楽しく過ごしていきたいと願っています。

☆推薦者 牧野 桂子

葉山に移住し、なれない環境にストレスを感じるなか偶然詩吟に出会い、その魅力にはまった今日この頃。体操仲間、日中お一人の生活に生きがいをなくしかけている彼女に参加を勧めたところ、何と今は彼女の方が詩吟の虜になっています。最近私は私も負けじと散歩中海に向かい大きな声で吟じています。不思議と清々しい気持ちになります。詩吟を通して素敵な師匠と仲間感謝です。今後は適度にストレスも感じつつ日々精進したいと思っています。

**国際村支部**



★新入会員 大門 洋子

主人が国際村の詩吟同好会に参加したのは約10年前。いつの日か先生が大きな碩心会で御活

躍していらつしやる事を知り、同好会のメンバー3人が入会する事に。吟技の向上を目指して数年前から国際村の教場が私の家で始まり月4回行われ、その準備等をお手伝いしておりました。先生とお顔を会わす都度入会を勧められ、発表会、吟行会メンバーの誕生日会等々で仲良くなり、去年の暮れに一大決心をして入会する事になりました。ただし受審、大会等の参加は遠慮させてもらう事を申し上げました。今後とも宜しく御指導下さい。



★新入会員 菅田 克美

国際村の会で小泉岳貴先生の指導を受けています。発声法、言葉などを鮮明に、詩文に感情を込めてなご、詩吟は難しいが、作者の生き方や歴史背景などを学び、楽しくなりました。先に入会したお仲間の吟が上達しているのに感動して追って会員となりました。今、心掛けていることは、忘れないために明日やることを今日少しだけ手を付ける。「吟して休む」安心と未来が延びるから。皆様との絆を大切に吟道を精進したいと思えます。

☆推薦者 小泉 岳貴

昨年、企画部主催の吟行会、根津神社奉納吟の際、大門洋子さんが皆さんと上手に詠じられているのを拝聴し、その時から碩心会会員にと思いつく度声を掛けました。秋、群馬の法師温泉へ一泊二日の旅、中国古典の鑑賞会、そして各人のお誕生日会等々楽しく過ごす中、仲間との交流を詩吟だけでなく、これから先の日常生活の中に取り入れる事を目標にと思えます。又入会して頂くには、何度もお声を掛けて、詩吟を聞いて頂く事も大切です。

### 第10回尚齒会神奈川吟詠大会

顧問 加藤 岳洵

9月8日(日) 大型台風の影響が心配される中、表記の大会が神奈川公会堂で開催された。神奈川岳風連合会傘下の20団体で490名程の会員が集い、舞台と会場が一体となった至福の日であった。碩心会からは、独吟に池田和泉(真名瀬) 森田祐岳(真澄) 渡邊岳香(悠吟) 根岸岳啓(紫陽花) 内山岳青総本部長理事、合吟は有友会長以下15名と、昨年から新メニューとなった、おしどり吟詠に私と家内で、半世紀に亘り二人の歩んだ人生に感慨をこめ、「花を惜む」(福沢諭吉)を披露した。毎年乍ら、人生と吟歴の豊かな90歳以上の独吟があり無心に吟ずる姿は感動と感激の連続で心底からの拍手がひしひしと伝わってきた。庄巻は、白寿の大沢江岳さん(神奈川誠吟会)が「火に焼かれ」(井上円了)を詩情豊かに吟じ豊饒として退場する姿に、感極まった聴衆から称賛の拍手を送る光景は印象的であった。

世界一の長寿国となった我が国は、高齢化が社会問題となる昨今、内山総本部長理事の挨拶の中で健康寿命とともに、元気で詩吟活動を通して、外向きの活動に努力することも大事であるとのこと。宜(むべ)なるかなと感じ入った次第。

露・往・霜・来。尚齒会会員よ、人生のすばらしい円熟期を楽しもうではないか。

### 「吟道会館」吟行記

東伏見支部 由谷悦岳

わが支部の伝統行事の一つに詩文史跡を巡る吟

行旅行があります。私も入門以来支部のお仲間と一緒に方々への旅を楽しんできました。昨年末の碩心会行事の「吟道会館訪問」を逃し、そのリベンジで春先からいろいろ企画されてきましたが、結局会員の年齢も考慮し7月9日に小型バスを仕立てての小旅行となりました。

朝8時葉山を出発し一路鷺谷に向け高速道路を乗り継ぎ疾走し、10時過ぎには目的の岳風会本部の吟道会館に到着できました。先ず、玄関の歓迎サインに迎えられ案内された大講堂の素晴らしさに一同歓声を挙げ、ご案内頂いた真島専務理事の座席数198の理由説明に続く会館立地や建設苦労談等に皆納得し、当時抛金した頃を懐かしく語り合いました。

続いてエレベータで4階へ昇り、会議兼研修室に掲



### 会員のうごき

#### \*入会(9月1日付け)

194 庄司 淑子(紫陽花) 葉山町堀内

紹介者 中山 辰風

195 河田 仁我(幸和) 横浜市泉区岡津町

紹介者 河田 好岳

196 三島 知子(真澄) 逗子市沼間

紹介者 村上 遥風

#### \*退会者

182 河野 清(紫陽花)

188 松島 茂樹(松和)

152 吉田 英彦(松和)

### 編集後記

この夏、暑さや自然災害から「命を守る」ということが度々言われました。この厳しい夏に碩心会の夏季吟道講座をはじめ、いろいろな講座が開かれ、吟技の向上にとりくみました。秋の実りを楽しみに待ちたいと思います。

#### 令和元年9月現在会員数

逗子地区 99名  
葉山地区 84名  
合計 183名

お詫びと訂正  
碩心7月号 (NO.449) 4ページ  
昇伝段位認許 田邊無岳 ↓ 田邊無岳

### 逗子清寿苑慰問講演開催

9月3日(火) 逗子清寿苑デイサービスセンターで3年ぶりの慰問講演が行われた。河田好岳さんの開会の言葉に始まり、詩吟と詩舞18番が披露された。合間に慰問団と清寿苑の方々との童謡の合唱もあり、なごやかで笑顔にあふれた心の通い合った交流が深まった。清寿苑でも詩吟を行なっているとのこと、慰問というよりは相互に合吟し合うことも今後の課題と思われた。(森 祐風)